

SOSEKI チャレンジングアワード 2023 「漱石文学のその後を綴ってみませんか！ 創作物語」  
 作品募集&公開審査 実施報告書

趣 旨 小説は様々なドラマを抱えながら終わります。しかし、漱石の小説のエンディングは、主人公や登場人物たちがその後、なにを思い、どう生きているのか・・・、と、読者に問いかけているのではないか、そこを想像しながら作品を読んでいくと作品の趣が変わってくるのではないか。そこで、作者の想像力で「漱石の小説」のその後を描いた物語を募集します。一次審査で審査員が選考した作品を、二次審査では公開審査とし、受賞作品を決定します。

主 催 NPO 法人くまもと漱石文化振興会 共 催 夏目漱石文化振興推進会議

後 援 : 熊本県 熊本市 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊日日新聞社

助 成 : (一財)熊本放送文化振興財団

【募 集】

対 象 : 一般の部(年齢、国籍は問わない) 学生の部(概ね 25 歳まで)

募集作品: 『草枕』、『二百十日』、『三四郎』、『吾輩は猫である』、『こころ』の 5 作品の中から一作品を選んで、物語のその後を原稿用紙 3~5 枚程度。

募集期間 R5.10 月 1 日 ~ R5.12 月 25 日(当日消印有効)

応募方法: 漱石の作品名、必要事項を記載し、メールまたは郵便で送付

応募状況: 応募総数 217 作品 有効件数 215 作品

地 域 (217)	熊本 (14) 東京 (42) 福岡 (6) 京都 (7) 埼玉 (10) 愛知 (6) 福島 (2) 宮城 (4) 千葉 (7) 滋賀 (4) 大阪 (39) 青森 (1) 岡山 (3) 島根 (1) 新潟 (3) 三重 (2) 山形 (3) 神奈川 (19) 高知 (1) 徳島 (1) 沖縄 (1) 静岡 (3) 富山 (1) 和歌山 (5) 山口 (2) 群馬 (1) 兵庫 (4) 茨木 (3) 大分 (1) 奈良 (5) 岐阜 (2) 石川 (2) 長野 (3) 鹿児島 (2) 山梨 (1) 北海道 (1) 36 都道府県 オランダ (1) アルジェリア (1) フランス (1)										
年 代 (217)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	不明	
	42	19	15	21	37	50	18	5	4	6	
性 別 (217)	男性 : 114 人			女性 : 94 人				不明 : 9 人			
作品名 (215) 不明 2	草枕		二百十日		三四郎		こころ		吾輩は猫である		
	19		24		22		110		40		

## 【審査】

審査員：小野友道 NPO 法人くまもと漱石文化振興会理事長、

半藤英明 熊本県立大学教授

農 孝生 熊本日日新聞社論説副委員長

福島絵美 チャレンジングアワード朗読者

審査 ◆一次審査 R6 年 1 月 29 日 会場：県立図書館研修室 審査員 4 名が 13 作品選考

◆二次審査 R6 年 2 月 18 日 会場：肥後銀行本店大会議室 youtube 配信

(会場参加者による投票と審査員で賞を決定、特別賞は会場得票数で決定)

会場参加者 45 名

審査結果

受賞者一覧

賞	作品名	受賞者名	都道府県
グランプリ (一般の部)	草枕	山本 英夢	静岡県静岡市
グランプリ (学生の部)	二百十日	川島 大揮	福島県会津若松市
準グランプリ (一般の部)	二百十日	山本 久美子	東京都目黒区
準グランプリ (一般の部)	三四郎	門歩 鸞 (ペンネーム)	京都府
準グランプリ (学生の部) 特別賞	こころ	近藤 亜樹	神奈川県横浜市
入賞	三四郎	舘 利恵	富山県高岡市
入賞	二百十日	柳瀬 輝	大阪府堺市
入賞	こころ	米澤 敦子	和歌山県橋本市
入賞	三四郎	見坂 卓郎	神奈川県川崎市
入賞	二百十日	佐々木 和人	茨城県牛久市
入賞	草枕	野口 祥子	熊本市北区
入賞	こころ	射場 正	愛知県犬山市
入賞	こころ	向井 陸	宮城県遠田郡

副賞 グランプリ 2 名 (一般の部 1 名、学生の部 1 名) 一人 3 万円

準グランプリ 3 名 (一般の部 2 名、学生の部 1 名) 一人 1 万円

入賞者 8 名 一人 5 千円 特別賞 1 名 5 千円

【2月18日ファイナル公開審査当日プログラム】

- 13時30分 開 会 小野理事長挨拶
- 13時32分 審査方法説明 司会 福島絵美アナウンサー
- 13時35分 朗読スタート（録音：13作品）
- 15時00分 審査（投票用紙回収、開票作業、審査）
- 15時10分 審査結果発表 小野審査委員長  
グランプリ（一般・学生各1名）  
準グランプリ（一般2名・学生1名）入賞 8名 特別賞1名
- 15時15分 審査員講評  
熊本県立大学教授 半藤英明 氏  
熊日論説副委員長 農 孝生 氏  
くまもと漱石文化振興会理事長 小野友道 氏  
チャレンジングアワード朗読者 福島絵美 氏
- 15時35分 閉 会

## チャレンジングアワード2023 収支計算書

NPO法人くもと漱石文化振興会

単位:円

### ＜収入の部＞

項目	予算額	決算額	差額	内容
助成金収入	400,000	100,000	327,000	熊本放送文化振興財団
	300,000	273,000		熊本県文化協会コロナ助成金
自己負担金	260,000	441,905	△ 181,905	
収入合計	960,000	814,905		

### ＜支出の部＞

項目	予算額	決算額	差額	内容
委託料	350,000	350,000		音響・映像配信35万
褒賞費	145,000	140,000		入賞者副賞 グランプリ3万×2名、 準グランプリ1万×3名、入賞5千×8名、特別賞1万
謝礼金	120,000	107,740		審査員謝礼22448×3人=67.344 審査員・司会・朗 読1名40.396
印刷費	150,000	80,000		ちらし 500枚25,000 作品集 100部55,000
会場費	150,000	109,450		会場使用料
交通費	15,000	9,000		運営スタッフ3名×3000
通信運搬費	20,000	13,541		郵送料
消耗品費	10,000	5,174		賞状用紙、備品代、事務用品
支出合計	960,000	814,905		

# 諸君、物語の続きを見せて欲しい。



あなたの想像力で「漱石の小説」のその後を描いた物語を募集します。

吾輩は猫である  
こころ  
三四郎  
二百十日  
草枕



小説は様々なドラマを抱えながら終わります。

しかし、漱石の小説のエンディングは、主人公や登場人物たちがその後、なにを思い、どう生きているのか・・・と、読者に問いかけているように思います。

そこを想像しながら作品を読んでいくと作品の趣が変わってくるのではないのでしょうか。

そこで、あなたの想像力で「漱石の小説」のその後を描いた物語を募集します。

## SOSEKI チャレンジングアワード 2023

### 「漱石文学のその後を綴ってみませんか！ 創作物語」作品募集

- 対象 一般の部（年齢、国籍は問いません） 学生の部（概ね25歳まで、国籍は問いません）
- 募集作品 『草枕』、『二百十日』、『三四郎』、『こころ』、『吾輩は猫である』の5作品の中から一作品を選んで、物語のその後を原稿用紙3～5枚程度に綴ってください。（応募作品については一人一作品とします）
- 募集期間 令和5年10月1日～12月25日まで（当日消印有効）
- 発表 一次審査 令和6年1月下旬 二次審査 令和6年2月下旬
- 副賞  
グランプリ 2名（一般の部1名、学生の部1名） 一人 3万円  
準グランプリ 4名（一般の部2名、学生の部2名） 一人 1万円  
入賞 7名（一般の部・学生の部から選考） 一人 5千円  
特別賞 1名（二次公開審査で投票が一番多かった作品） 1万円

！ 応募方法・審査方法等、詳しくは裏面をご覧ください。※注意事項を必ずお読みください。

NPO法人  
くまもと漱石文化振興会



主催 NPO法人くまもと漱石文化振興会 共催 夏目漱石文化振興推進会議  
後援 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社



## 「漱石文学のその後を綴ってみませんか! 創作物語」作品募集

- 対象 学生の部 (概ね25歳まで、国籍は問いません) 一般の部 (年齢、国籍は問いません)
- 募集作品 『草枕』、『二百十日』、『三四郎』、『こころ』、『吾輩は猫である』の5作品の中から一作品を選んで、物語のその後を原稿用紙3~5枚程度に綴ってください。(応募作品については一人一作品とします)
- 募集期間 令和5年10月1日~12月25日まで(当日消印有効)
- 応募方法 漱石の作品名、氏名、年齢、住所、連絡先、学年を記して、メールまたは郵便で送付

NPO法人  
くまもと漱石文化振興会



送付先 NPO法人くまもと漱石文化振興会事務局あて

E-mail



〒860-0029 熊本市中央区米屋町2-3-1-206

E-mail [kumamososekibunka@gmail.com](mailto:kumamososekibunka@gmail.com)

☎ 070-3630-2697 (9時~17時 土日祝日休み)

- 審査方法 一次審査 令和6年1月末 13名選考  
審査員：小野友道 NPO法人くまもと漱石文化振興会理事長  
半藤英明 熊本県立大学教授  
農 孝生 熊本日日新聞社論説副委員長  
福島絵美 チャレンジングアワード作品朗読者

三次審査 (会場参加者による投票と審査員で賞を決定) youtube 配信  
※二次審査は、13名の創作作品の朗読(朗読専門家)を聞いて会場参加者が1票投票+審査員の得点により決定 → 表彰式(表彰、講評)

- 発表 一次審査 令和6年1月下旬 二次審査 令和6年2月下旬
- 副賞  
グランプリ 2名(一般の部1名、学生の部1名) 一人 3万円  
準グランプリ 4名(一般の部2名、学生の部2名) 一人 1万円  
入賞 7名(一般の部・学生の部から選考) 一人 5千円  
特別賞 1名(二次公開審査で投票が一番多かった作品) 1万円

- 募集作品 『草枕』、『二百十日』、『三四郎』、『こころ』、『吾輩は猫である』の5作品の中から一作品を選んで、物語のその後を原稿用紙3~5枚程度に綴ってください。(応募作品については一人一作品とします)

主催 NPO法人くまもと漱石文化振興会 共催 夏目漱石文化振興推進会議  
後援 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社

### 【注意事項】

- 個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。(不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。)
- 応募原稿は、400字詰原稿用紙(A4サイズ)たて書きを使用し、必ず右肩を綴じてください。
- パソコン、ワープロの原稿は400字詰の原稿用紙(A4サイズ20×20)たて書きの入力設定にしてください。
- 受理した作品の変更は認めません。
- 応募原稿は返却しません。(必要な方はコピーをとってください。)
- 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
- 提供された個人情報は、選考や結果通知、募集案内などにのみ利用します。
- 原稿締切日から一次審査、二次審査までの審査経過に関する紹介に対しては、一切回答致しません。